

男女共同参画計画策定は

令和3年度の策定目指す

質問 本市での男女共同参画計画策定の意味は何か。

答弁 S D G s 未来都市を具現化し、女性が活躍する社

会を推進する上でも重要な。質問 孤立を防ぐための男性の地域行事参画の促進、性的少数者の方々のことも配慮



木村 聡
(とうほく未来創生)

するなどの考えも重要では。

答弁 みんなにとっていい社会をつくるという大前提が共通認識として必要。時代の流れも捉えながら新計画にも反映させるべきであり、策定委員の意見を基に策定する。

質問 委員の選定と策定は。答弁 公募の枠も検討し、多様な意見を取り入れ、令和3年度の策定を目指す。

ICT活用成果は

質問 高齢者へICT機器100台を無償貸与した成果と課題は。

答弁 講習会には15団体81人が参加し、前向きな声も多く、LINEでのやり取りで

質問 グローバルキャンペーンを活用した防災教育についてはどうか。

答弁 防災・減災を学ぶ人たちが多く集い、防災教育の中心地として機能するよう市としても支援していく。

今泉の土地利用は

質問 土地利用促進パン

ク制度と土地利用促進助成事業の現状と課題はどうか。

答弁 バンクの登録状況は、今泉地区174件で成約数は5件。助成事業の利用は1件。現在、利用予定のない方や未定の方は78%となっている。未利用地の利用促進のため、用途地域の見直し等の

思うが実績はどうか。

答弁 PCR検査センター設置後から本年2月までの検査実績は25件、うち本市分は5件となっている。

質問 ワクチンの接種体制はどうか。

答弁 接種会場は市保健福祉総合センターにて集団接種、市内各医院等では個別接種とし、現在、県立高田病院や気仙医師会と協議している。

配食サービス拡大を

質問 令和3年度以降の介護保険料は。

答弁 基準月額を6千円とし、200円減額となる。

質問 高齢者の孤立化が気になる。日常的なサポート体

孤立解消効果も確認。週1回の講習では習得に至らず、内容を検討し利用定着を図る。

質問 市内事業者が既に延べ500人に対して無償ICT研修を実施した。市の支援は。

答弁 市民のICTに対する理解は重要だ。国の制度も踏まえ民間での課題と市の役割について相談したきたい。

将来の地域支え合いは

質問 2040年には就職氷河期世代でケアが必要な高齢者が増えることが予想されるが、市の取り組みは。

答弁 令和2年度から自立相談支援機関にアウトリーチ

検討を進める。

中心部の「カモシー」、北地区の農業テーマパークが開業することにより、土地利用の促進につながるものと考えている。

たかたのゆめの状況は

質問 本市の農産物の高付加価値化の到達度はどうか。

答弁 「たかたのゆめ」については岩手県版GAPの認証を受けた農業者もあり、さらなる安全・安心な生産に取り組んでいる。また、他の農産物についても生産者団体と連携し、GAP認証の取得推進を図ることとしている。

質問 「たかたのゆめ」の

制の考えはどうか。

答弁 身近に相談できる人をつくる。また、支援が必要な人を見逃さないという包括的ケア推進を進めていく。

質問 昨年、好評だった配食サービスの事業継続は。

答弁 昨年のアンケートで継続希望も多く、対象世帯の拡大や利用者負担額等を見直し、市内飲食店等と連携し継続したい。

生活保護の利用を

質問 このほど、生活保護の国会質疑で『扶養照会が義務ではない』との答弁があったが、本市の対応はどうか。

答弁 今般、厚労省から、扶養照会是个々の事情に応じ



陸前高田市
男女共同参画計画
～男女の協働による豊かで潤いのある社会の実現をめざして～
平成14年度～23年度の市男女共同参画計画

支援員を配置し、機能強化を図っている。

質問 各地区における互いの学び合いのため、共通の評価項目を設けては。

答弁 地区ごとの課題抽出等が現段階で重要。地域支え合い推進委員での情報共有はしている。



整備が進む防災・減災体験施設

市場流通状況はどうか。

答弁 令和3年産米の集荷までには、2年産米の全量が販売される予定となっている。また3年度からは学校給食の全量を「たかたのゆめ」に切り替え、市民に食べてもらうなど機運を高めていきたい。

コロナ感染の受け止めは

誹謗中傷せず冷静な行動を

質問 新型コロナウイルス感染症の感染状況はどうか。

答弁 大船渡市でクラスターが発生し、2月16日には

本市でも初めて確認された。市民には決して誹謗中傷せず冷静な行動をお願いしたい。

質問 PCR検査は重要と



大坪 涼子
(日本共産党)



コロナワクチン集団接種シミュレーション

新庁舎でのサービスは

質問 市民に親しまれる市役所にするためには。

答弁 総合案内、市民交流スペース、プライバシーに配慮した個室などを配置する。新たなバス停の設置も協議している。